

## 【巻頭言】

## 学友会で繋がる

理事 正者智昭(57 回生)



この度、学友会理事を拝命いたしました専門学校 57 回生の正者智昭と申します。

私は現在京都第二赤十字病院に勤務しております。日本には診療放射線技師で構成される日本診療放射線技師会がありますが、日本赤十字社にも赤十字事業を支える赤十字職員としての診療放射線技師で組織された日本赤十字社診療放射線技師会(以下、日赤技師会)があり、私は数年前から理事として微力ながら会の活動のお手伝いをしております。

日赤技師会で以前は組織調査を担当しておりました。担当業務として会員動向の把握や全国赤十字病院の放射線業務の実態調査等を行うために各赤十字施設の技師長や代表者の方々と頻りにメールをやり取りしましたが、実際にお会いして顔とお名前が一致する方はそう多くありませんでした。ところが学友会総会に参加した際に出席者名簿に思いがけなく何名か覚えのあるお名前を発見してご挨拶をさせていただいたことがあり、赤十字病院の中にも組織を管理指導する立場でご活躍されている学友会の先輩が多くおられるということに改めて本学の歴史と伝統というものを認識させられました。

特に目立った実績のない私が日赤技師会に理事として携わることになったのも、前任者が同じ病院の技師長であったこともありますが、すでに理事として活躍されている学友会の会員がおられたという縁があったのもひとつの要因であったと思っております。会務にあたっては大変なこともあります、逆に自分の施設にとどまっているだけではわからない多くのことが勉強できる機会をいただき感謝しております。

若い頃、学友会は無縁なものだと思っておりましたが、40 歳くらいの頃でしょうか、同級生で当時は京都支部長、現在は本部役員の出石理事から「一度同窓会感覚で集まろう」と呼びかけがあり、少し軽めの「ノリ」で京都支部総会に参加したのが私の初めての学友会でした。そこで久しぶりに会った同級生や在学中にお世話になった先生方、事務員さん、そして実習でお世話になった先輩方との会話はとても楽しく、そしてなにより自分とは違う様々な施設や職場で活躍されている会員の皆さんと知り合え親睦を深めることができたのは、参加前には想像できなかった素晴らしい経験であったと記憶しております。

診療放射線技師に限ったことではありませんが、仕事において知識や技術の習得とともに自分の業務や組織の問題を解決するための情報や助言を得ることができる人脈を築くことはとても重要です。知識や技術を深める場としては学会や研究会等がありますが、人脈を広げる場としては、同じ分野ではありますが活躍されている環境が違う会員や経験豊富な先輩会員の皆さんが集まって気軽な雰囲気交流できる学友会是最適な場所のひとつではないでしょうか。特に若い会員の皆さんには学友会に積極的に参加いただくことで、楽しいひと時を過ごしながら今後の財産となるような豊かな人脈も築いていただけたら嬉しく思います。

平易な表現で恐縮ですが、本学友会のような仲良く楽しく交流をしている卒業生の会はあまり無いと聞きます。すなわち 1928 年に学友会を発会された初代会長の「家庭的な雰囲気をたもちながらお互いの親密さをいつまでも失いたくない」という理念は長い歴史を積み重ねた現在もしっかりと受け継がれており、私も諸先輩方に倣い発会時の思いを守りながら学友会活動に励んで参る所存です。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。

以上